

技術系リーダーのための『チームマネジメント』実践講座—R&D現場の生産性をいかに高めるか—

～ものづくり企業のR&D現場を担うリーダーが身に着けるべきマネジメント能力とは～

セッション1：R&D現場におけるチームの成長戦略 ※セッション毎のご参加が可能です
セッション2：R&D現場におけるチームの運営と改善

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ セッション1：2018年 3月 19日(月) 13:00～17:00
セッション2：2018年 3月 20日(火) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京：麹町)

【開催にあたって】

R&D(研究・技術開発・製品開発・生産技術開発)の生産性は、現場のチームを任せられたリーダーの力量が大きな鍵を握ります。さらに、イノベーションの時代において、新たな価値と技術の創造を担う中核機能としてR&Dへの期待が高まる中、現場のチームリーダーのマネジメント力をいかに高めるかは各社の重要な課題となっています。本セミナーでは、ものづくり企業のR&D現場を担うリーダーが、人と組織を動かして成果を創出しつづけていくために身に着けるべきマネジメント能力をテーマとして、ケミストリーキューブが様々な企業のR&D現場を支援する中で培った実践的なチームマネジメントのフレームワークとノウハウを解説します。

講師 株式会社ケミストリーキューブ 代表取締役 平木肇 氏

講師紹介
92年筑波大学を卒業、シャープ(株)入社。エンジニアとして先端電子デバイスの研究開発・製品開発・生産技術開発に取り組む。通産省(当時)主幹の次世代研究プロジェクトに参画。99年(株)日本能率協会コンサルティング入社。14年間にわたり、技術経営(MOT)、イノベーションマネジメント、研究開発(R&D)マネジメントを主領域としたコンサルティングに従事。2014年(株)ケミストリーキューブ設立。“技術人材の知恵を、価値を創り出す力に変える”をコンセプトとして、ものづくり企業・技術系企業の技術力・価値創造力の強化と人材の開発を支援している。

【申込方法】 当会ホームページ(https://www.bri.or.jp)からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

【受講料：1名(税込・資料代含む)】 ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

両セッション参加	正会員	45,360円(本体価格 42,000円)	一般	48,600円(本体価格 45,000円)
1セッションのみ参加	正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)

受講希望に「✓」をご記入下さい。		<input type="checkbox"/> セッション1参加(173010-1010)	<input type="checkbox"/> セッション2参加(173010-1010)
ふりがな	会社名		
住所			
TEL	FAX		
ふりがな	ご氏名	所 属	役 職
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領：当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認くださいませ。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先：企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

・プログラム・

セッション1：2018年 3月 19日(月)
13:00～17:00
「R&D現場におけるチームの成長戦略」

■プログラム

1. チームリーダーとは
 - ・リーダーは、担当者の延長線上ではない
 - ・チームリーダーの仕事は組織の経営(マネジメント)
 - ・マネジメントは実践の科学
 - ・「思考」と「試行」から得る気づきと学びがマネジメント力を高める
 - ・チームの成長はリーダーの成長と同期する
 - ・R&Dチームの成長戦略 3つコンセプト
～チームビジョン、チーム学習、マイプラン～
2. 実践コンセプト① ～チームビジョン～
 - ・成長とは能率の革新であり、規模の拡大ではない
 - ・成長戦略の基本は「2軸志向」
 - ・「どんなチームにつくりたいのか」を自らに問いかけよ
 - ・リーダーとしての個人の思いを、チームの大義に昇華させる
 - ・チームの「ありたい姿」を語るための実践ツール
3. 実践コンセプト② ～チーム学習～
 - ・成長の原動力は「学習」
 - ・現場のなかに学習サイクルをつくり込む
 - ・現場に必要な2つの学習 ～シングルグループとダブルグループ～
 - ・「学習」を視点にしてチームの仕事を見直す
 - ・チームの学習戦略をたてる
4. 実践コンセプト③ ～マイプラン～
 - ・メンバーが成長するからこそ、チームが成長できる
 - ・リーダーの最も大切な仕事は「人材育成」
 - ・マイプランは、チームメンバー一人ひとりの成長戦略
 - ・チームの成長戦略とメンバーの成長戦略を連動させる
 - ・リーダーとメンバーの面談も「2軸志向」で行う
 - ・メンバーを支配しない、メンバーに依存しない
5. 実践事例の紹介

セッション2：2018年 3月 20日(火)
13:00～17:00
「R&D現場におけるチームの運営と改善」

■プログラム

1. チームリーダーとは
 - ・リーダーは、担当者の延長線上ではない
 - ・チームリーダーの仕事は組織の経営(マネジメント)
 - ・管理と調整に忙殺されるR&D現場の実態
 - ・現場の目線で現実を直視し、高い視座で判断する
 - ・チームの運営と改善 3つのコンセプト
～見える化、振り返り、ムダどり～
2. 実践コンセプト① ～見える化～
 - ・見える化は目的ではない、見える化の目的は意思決定
 - ・R&Dの仕事はそもそも「見えにくい」
 - ・見えないものはマネジメントできない
 - ・作業の前に課題をばらせ
 - ・課題解決のストーリーを見える化する
3. 実践コンセプト② ～振り返り～
 - ・PDCAにおけるPの偏重
 - ～計画はレビューするが、結果はレビューしない～
 - ・R&Dの仕事の多くは、やってみなければわからない
 - ・イノベーションの基盤は、「やってみる」組織文化
 - ・「気づき」の共有化と「学び」の体系化
 - ・振り返りを仕組化する ～チームの振り返りと個人の振り返り～
4. 実践コンセプト③ ～ムダどり～
 - ・改善活動の結果、やるが増えること
 - ・改善の基本は「やらないこと」
 - ・お客様はだれか、お客様に価値を生み出すためにその仕事は本当に必要か
 - ・改善効果は、できるかぎり定量化する
 - ・問題の真因を掘り下げる「なぜなぜ分析」のポイント
5. 実践事例の紹介

■ご参加頂きたい方

製造企業の技術・開発部門長・マネージャー・リーダー、技術者・研究者、技術・開発企画スタッフ 特に、下記の課題認識をお持ちの方。

- ・リーダー、マネージャーとして、実践的なチームマネジメントの技術を学びたい
- ・R&D現場の生産性を高めたい。現場のマネジメントを変えたい・進化させたい。
- ・R&Dを引っ張る現場のリーダー、マネージャーを育てたい
- ・R&D向けのリーダー、マネージャー教育を実施したい。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。